

土木学会関東支部茨城会
平成26年度調査研究部会新規部会員募集について

平成27年1月吉日

土木学会関東支部茨城会
会 長 小柳 武和
調査研究部会長 澤 島 守 夫

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、土木学会関東支部茨城会調査研究部会では下記のとおり4つのテーマによりそれぞれ分科会を設置し活動しております。
この度一層の充実した活動が出来ますよう会員の皆様の御参加を募集致します。
参加御希望の方は別添申込書に記入の上事務局まで！

1. 調査研究部会活動内容

区分	分科会	構成員	目 的	内 容	備 考
1	橋梁 ヘルスマニタリ ング	リーダー：石沢孝 サブ：豊島信拓 茨大 呉研究室 横浜国立大学 イノベーション研究院	東日本大震災の損傷を検証し、橋梁の高精度なひずみ分布を解析して固有振動数、たわみ、荷重、損傷等の特性値の同定を行う	モニタリング橋梁：高萩工事事務所管理 県道 高萩インター線 「高戸大橋」A1橋台～P1橋脚 桁下部	
	橋梁点検 橋梁点検マニユ アル データベース	リーダー：豊島信拓 茨大 原田研究室 (横山功一先生)	・点検の考え方と手法 ・茨城県の橋梁の点検結果と損傷傾向 →(茨城大学卒論・土木学会発表より) ・橋梁台帳と管理データベース	・茨城県土木部の橋梁のこれまでの点検結果 損傷の傾向を分析(15m以上) ・国土交通省H26.7(2m以上橋梁の対応) ・市町村橋梁、土木構造物の点検支援 ・エクセルによりデータベースを試作	
3	UAV応用活用研究	リーダー：斉藤修 茨城大学工学部 防災セキュリティ 教育研究センター 副センター長・特命教授	・UAV (Uncrewed Aerial Vehicles) マルチヘリコプターを応用した災害現場 構造物損傷等各種調査	・茨城県海岸線全域空撮調査・・・海岸浸食、崩壊 の現状調査(土木部河川課と連携)H26北茨城、日 立地域実施予定 ・橋梁点検、土木構造物・建築物外壁等損傷調査 ・災害現場の空撮	
4	土木 遺産 調 査	リーダー：澤島守夫 サブ：豊島信拓	土木学会選奨土木遺産の認定制度 は、土木遺産の顕彰を通じて土木事 業のPRと歴史的土木構造物の保存に 資することを目的としている。	平成22年度：大手橋(水戸市道) 央橋(常陸太田市道) 平成23年度：筑波山千寺川砂防堰堤群(茨城県) 平成24年度：花貫川第1発電所第3号水路橋 平成25年度：水戸市低区配水塔(水戸市) 平成26年度：筑波山ケーブルカーH27の選奨遺産 として	
	土木遺産の調査		・茨城県の土木遺産を発掘し土木学会選奨 土木遺産へ推薦する。 ・土木遺産として登録に至らないが地域とし て重要な構造的特徴や建設の背景を調査し 記録に残すこと。	・水府橋、御前山橋 ・新大利根橋(高架化)	

2. 活動について

・新規加入構成員は現在活動中の各部門全研究項目に参加し参画したい項目を選択、構成員として参加していく
・業務上各研究項目に参加が困難な場合はメール等により活動報告を受け取る事が出来る
・原則月1回の各研究会を開催する
・3ヶ月に1回の全体報告会を実施する・・・イブニングセミナー等も視野に入れる！

お問合せ先：《土木学会関東支部茨城会事務局》
〒310-0004 水戸市青柳町4195
(一財)茨城県建設技術管理センター
総務部企画研修課 加藤 進
TEL 029-227-5634、FAX 029-227-8558
E-mail:katou@ibakengi.or.jp

土木学会関東支部茨城会”平成26年度調査研究部会”

平成 年 月 日

”参加申込書”

調査研究部会に参加申し込み致します。

会社名・担当課	役 職	氏 名	備 考 (ご意見がありましたら記入願います)

お申し込み先；土木学会関東支部茨城会事務局
〒310-0004 水戸市青柳町4195
(一財)茨城県建設技術管理センター
総務部企画研修課 加藤または安附(あんつき) 宛て
TEL 029-227-5634
FAX 029-227-8558 E-メール : katou@ibakengi.or.jp をご利用下さい！

申込期限：平成27年1月30日(木)